

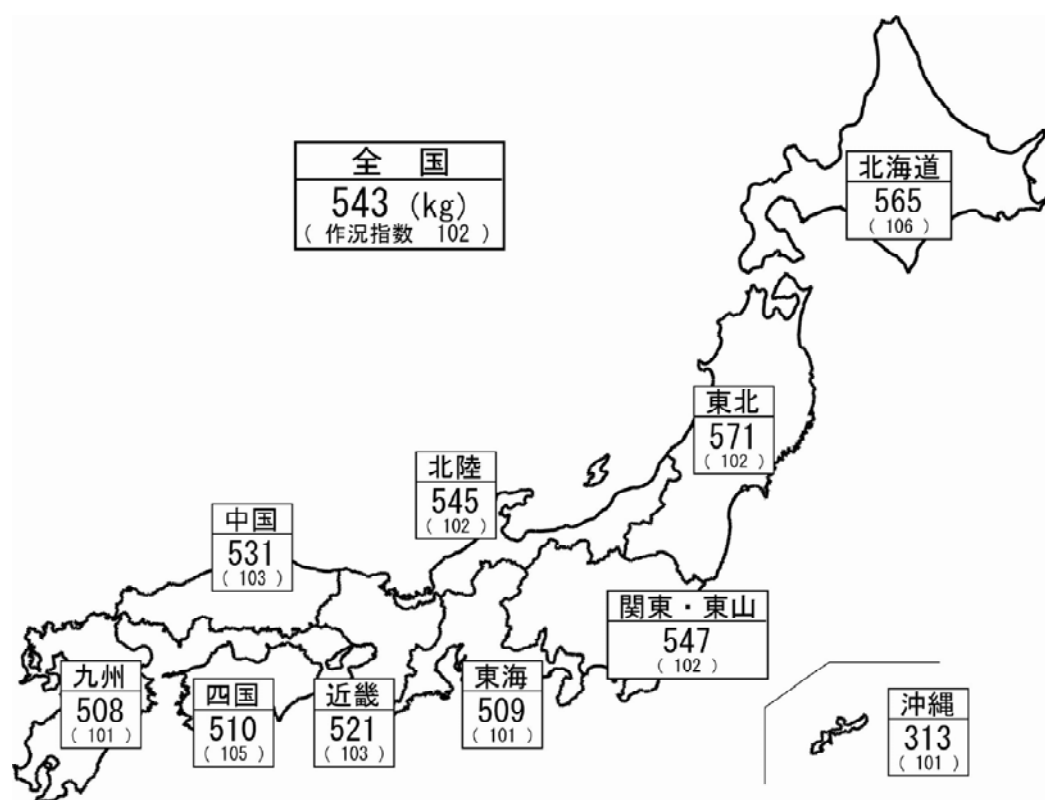
平成20年産水陸稲の収穫量

— 水稲の10 a 当たり収量は543kg（作況指数102）
— 収穫量（子実用）は881万5,000 t

【調査結果の概要】

- 平成20年産水稲の作柄は、おおむね天候に恵まれ、登熟は順調に推移したことから、10 a 当たり収量は543kg（作況指数102）、収穫量（子実用）は881万5,000 t（前年産対比101%）となった。
また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は865万8,000 tとなった。
- 平成20年産陸稲の作付面積（子実用）は3,200ha（前年産対比88%）で、収穫量（子実用）は8,490 t（同91%）となった。

図 平成20年産水稲の全国農業地域別10 a 当たり収量



- 主食用作付面積とは、作付面積(青刈り面積を含む)から、生産調整カウントとなる米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/suirikutou2008/suirikutou2008.xls>】

【関連するデータ、情報】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための基礎資料
- ・ 集荷円滑化対策において、過剰米数量算出の必要性の判断及び豊作時の過剰米数量算出のための基礎資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の確認のための基礎資料
- ・ 農業災害補償法に基づく農作物共済事業（水稻）及び畑作物共済事業（陸稲）において共済基準収穫量算定のための基礎資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料

◎関連データ

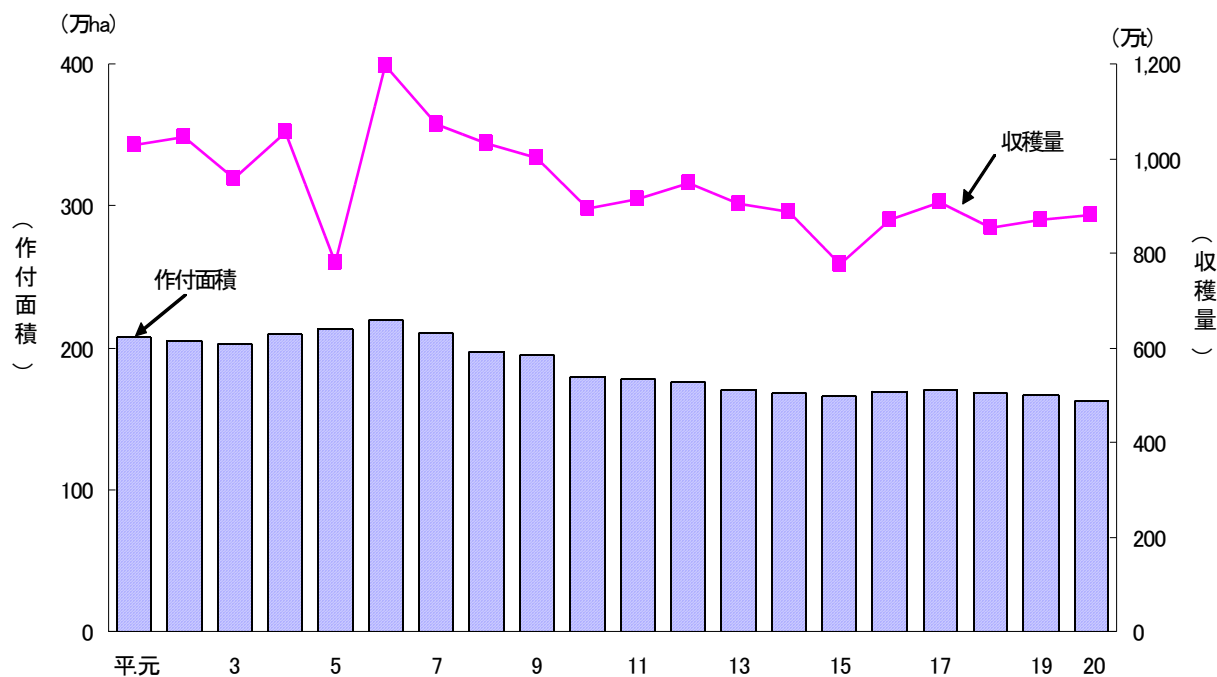
1 累年表

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	水 陸 稲 計		水 稲				
	作 付 面 積	収 穫 量	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	ha	t	ha	kg	t		kg
昭.54	2 497 000	11 958 000	2 468 000	482	11 898 000	103	466
55	2 377 000	9 751 000	2 350 000	412	9 692 000	87	471
56	2 278 000	10 259 000	2 251 000	453	10 204 000	96	474
57	2 257 000	10 270 000	2 230 000	458	10 212 000	96	477
58	2 273 000	10 366 000	2 246 000	459	10 308 000	96	478
59	2 315 000	11 878 000	2 290 000	517	11 832 000	108	479
60	2 342 000	11 662 000	2 318 000	501	11 613 000	104	481
61	2 303 000	11 647 000	2 280 000	508	11 592 000	105	484
62	2 146 000	10 627 000	2 123 000	498	10 571 000	102	487
63	2 110 000	9 935 000	2 087 000	474	9 888 000	97	490
平.元	2 097 000	10 347 000	2 076 000	496	10 297 000	101	492
2	2 074 000	10 499 000	2 055 000	509	10 463 000	103	494
3	2 049 000	9 604 000	2 033 000	470	9 565 000	95	497
4	2 106 000	10 573 000	2 092 000	504	10 546 000	101	498
5	2 139 000	7 834 000	2 127 000	367	7 811 000	74	499
6	2 212 000	11 981 000	2 200 000	544	11 961 000	109	499
7	2 118 000	10 748 000	2 106 000	509	10 724 000	102	501
8	1 977 000	10 344 000	1 967 000	525	10 328 000	105	502
9	1 953 000	10 025 000	1 944 000	515	10 004 000	102	504
10	1 801 000	8 960 000	1 793 000	499	8 939 000	98	507
11	1 788 000	9 175 000	1 780 000	515	9 159 000	101	512
12	1 770 000	9 490 000	1 763 000	537	9 472 000	104	518
13	1 706 000	9 057 000	1 700 000	532	9 048 000	103	518
14	1 688 000	8 889 000	1 683 000	527	8 876 000	101	522
15	1 665 000	7 792 000	1 660 000	469	7 779 000	90	524
16	1 701 000	8 730 000	1 697 000	514	8 721 000	98	525
17	1 706 000	9 074 000	1 702 000	532	9 062 000	101	527
18	1 688 000	8 556 000	1 684 000	507	8 546 000	96	529
19	1 673 000	8 714 000	1 669 000	522	8 705 000	99	529
20	1 627 000	8 823 000	1 624 000	543	8 815 000	102	530

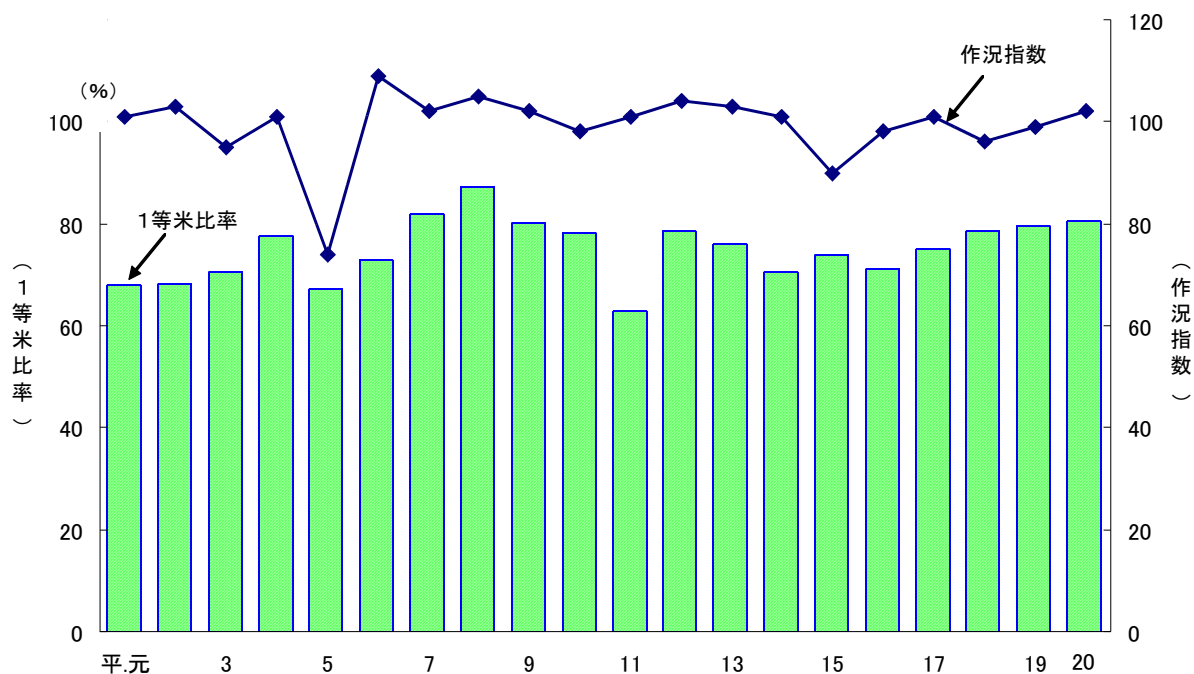
資料：農林水産省統計部『作物統計』による。

2 水稻の作付面積及び収穫量の推移



資料：農林水産省統計部『作物統計』による。

3 水稻うるち米の1等米比率と作況指数の推移



資料：農林水産省統計部『作物統計』、農林水産省総合食料局食糧部「米の検査結果」による。

注：平成20年産の1等米比率は平成20年11月15日現在の速報値である。

【調査結果】

1 作柄概況

(1) 水 稲（統計表 P 8、9 参照）

ア 平成20年産水稲の作柄は、北海道では、穂数はやや少なくなったものの、もみ数は平年より多く、登熟も全般的に高温・多照で経過したことにより、おおむね順調に推移したことから、10 a 当たり収量は565kg（作況指数106）となった。

東北では、太平洋側を中心に、8月中下旬の低温・日照不足の影響により登熟が緩慢となったものの、9月以降おおむね高温多照で経過したことから、10 a 当たり収量は571kg（同102）となった。

九州では、もみ数は平年よりやや多く、登熟は9月中旬以降の高温・日照不足や、南九州で秋雨前線や台風による倒伏、穂発芽等の影響がみられたものの、おおむね平年並みで推移したことから、10 a 当たり収量は508kg（同101）となった。

その他の地域では、一部の県で9月中下旬の低温・日照不足の影響がみられたものの、登熟期間を通しておおむね天候に恵まれたことから、北陸は10 a 当たり収量545kg（同102）、関東・東山は547kg（同102）、東海は509kg（同101）、近畿は521kg（同103）、中国は531kg（同103）、四国は510kg（同105）となった。

この結果、全国の10 a 当たり収量は543kg（同102）となった。

イ 以上の結果、収穫量（子実用）は881万5,000 t となった。

また、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は865万8,000 t となった。

(2) 陸 稲（統計表 P 9 参照）

平成20年産陸稲の作柄は、主産県の茨城県及び栃木県において、おおむね天候に恵まれ生育・登熟が順調であったことから、10 a 当たり収量は265kg（平均収量対比111%）となった。

表 1 平成20年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）

全国農業地域	水陸稲計		水 稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	収 穫 量 (子実用) ③=①×②	参 考			
						主食用 作付面積 ④	収 穫 量 (主食用) ⑤=④×②	10 a 当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg		
全 国	1 627 000	8 823 000	1 624 000	543	8 815 000	1 596 000	8 658 000	530	102
北 海 道	114 600	647 500	114 600	565	647 500	110 900	626 600	534	106
東 北	416 000	2 374 000	416 000	571	2 374 000	406 800	2 320 000	558	102
北 陸	209 800	1 144 000	209 800	545	1 144 000	201 600	1 099 000	532	102
関東・東山	303 600	1 651 000	300 400	547	1 643 000	297 100	1 625 000	534	102
東 海	105 400	536 600	105 400	509	536 600	104 600	532 600	504	101
近 畿	110 800	577 500	110 800	521	577 500	109 900	572 700	508	103
中 国	117 200	622 900	117 200	531	622 900	116 600	619 700	517	103
四 国	58 300	297 100	58 300	510	297 100	58 300	297 100	484	105
九 州	190 600	968 800	190 600	508	968 700	189 500	962 600	502	101
沖 縄	1 010	3 160	1 010	313	3 160	1 010	3 160	309	101

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む）から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積である。

2 水稻の被害概況（統計表 P 10参照）

平成20年産水稻の被害を被害種類別にみると、日照不足が最も大きく（被害総量に占める割合23%）、次いで風水害（17%）、冷害（16%）となっている。

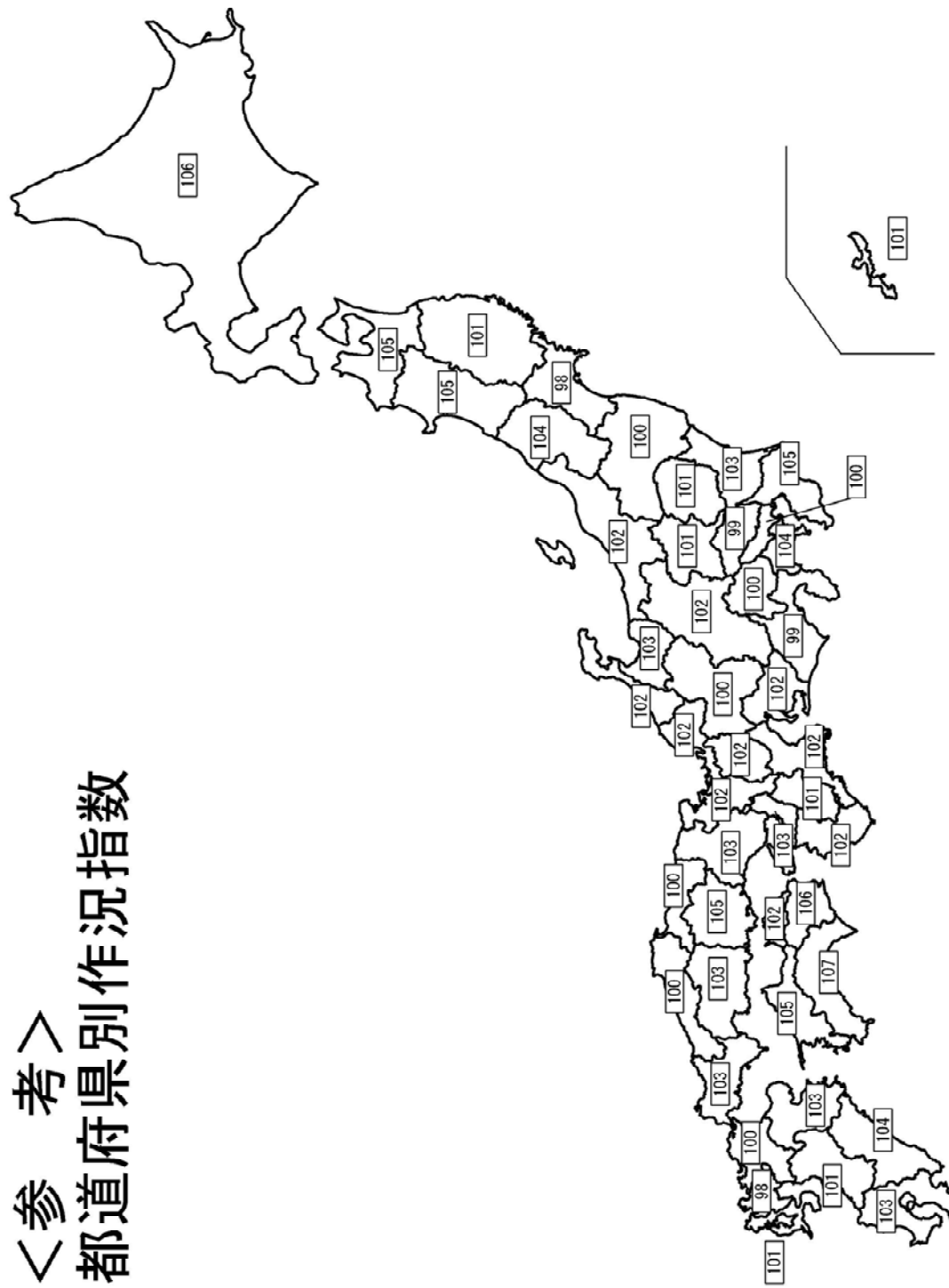
表2 平成20年産水稻の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	構成比
			ha
総数	3 119 000	518 100	100
うち気象被害	1 620 000	314 100	61
風水害	363 100	88 200	17
干害	7 040	2 670	1
冷害	348 700	82 400	16
日照不足	688 000	116 700	23
高温障害	207 900	21 800	4
その他	5 610	2 360	0
うち病害	793 400	141 000	27
いもち病	274 400	67 000	13
紋枯病	274 800	44 500	9
その他	244 200	29 500	6
うち虫害	579 800	45 900	9
ニカメイチュウ	57 300	5 350	1
ウンカ	57 500	6 170	1
カメムシ	121 100	11 700	2
その他	343 900	22 700	4

注：1 被害面積の総数並びに気象被害、病害及び虫害の計は、被害種類別面積の延べ数であり、同一地域で2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上している（以下の統計表2について同じ）。

- 2 気象被害のその他は、ひょう害、塩害等である。
- 3 病害のその他は、胡麻葉枯病、白葉枯病等である。
- 4 虫害のその他は、イネミズゾウムシ等である。

＜参考＞ 都道府県別作況指数



注1：徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。
 注2：沖縄県は第一期稲、第二期稲を合算したものである。

統 計 表

【目次】

ページ

1	平成20年産水陸稲の収穫量	8
2	平成20年産水稲の被害面積及び被害量	10
参考 1	平成20年産水稲の作柄表示地帯別作況指数	11
参考 2	平成20年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況及び 10 a 当たり収量内訳（全国農業地域別）	13
参考 3	農家等が使用した選別ふるい目幅の分布 【平成20年産水稲作況標本(基準)筆農家からの聞き取り結果】	14
参考 4	収穫量調査の流れ	15
参考 5	作況標本筆とは	16

【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中に用いた記号は、以下のとおりである。

- 「－」 : 事実のないもの
- 「…」 : 事実不詳又は調査を欠くもの
- 「0」、「0.0」 : 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
- 「x」 : 個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表しないもの

【統計表】

1 平成20年産水陸稲の

全 国 都 道 府 県	水 陸 稲 計		水			
	作 付 面 積 (子 実 用)	収 穫 量 (子 実 用)	作 付 面 積 (子 実 用) ①	10a 当 たり 収 量 ②	収 穫 量 (子 実 用) ③=①×②	主 食 用 作 付 面 積 ④
	ha	t	ha	kg	t	ha
全 国 1	1 627 000	8 823 000	1 624 000	543	8 815 000	1 596 000
北 海 道 2	114 600	647 500	114 600	565	647 500	110 900
青 森 3	49 200	300 600	49 200	611	300 600	47 700
岩 手 4	56 600	304 500	56 600	538	304 500	55 100
宮 城 5	72 400	377 900	72 400	522	377 900	70 800
秋 田 6	89 000	535 800	89 000	602	535 800	86 800
山 形 7	67 600	417 100	67 600	617	417 100	65 500
福 島 8	81 300	438 200	81 300	539	438 200	80 800
茨 城 9	79 500	421 600	77 400	537	415 600	76 400
栃 木 10	64 200	349 100	63 500	547	347 300	62 400
群 馬 11	18 400	91 800	18 300	501	91 700	18 100
埼 玉 12	35 900	176 000	35 800	491	175 800	35 600
千 葉 13	62 200	347 400	62 100	559	347 100	61 800
東 京 14	208	800	187	409	765	187
神 奈 川 15	3 250	16 400	3 230	507	16 400	3 230
新 潟 16	116 900	644 100	116 900	551	644 100	111 500
富 山 17	39 700	219 100	39 700	552	219 100	38 300
石 川 18	26 400	139 100	26 400	527	139 100	25 600
福 井 19	26 800	141 800	26 800	529	141 800	26 200
山 梨 20	5 310	29 100	5 310	548	29 100	5 250
長 野 21	34 600	219 400	34 600	634	219 400	34 100
岐 阜 22	24 900	122 000	24 900	490	122 000	24 800
静 岡 23	18 000	93 400	18 000	519	93 400	18 000
愛 知 24	31 400	162 000	31 400	516	162 000	31 100
三 重 25	31 100	159 200	31 100	512	159 200	30 700
滋 賀 26	33 200	176 000	33 200	530	176 000	32 700
京 都 27	15 800	82 500	15 800	522	82 500	15 700
大 阪 28	5 850	29 700	5 850	508	29 700	5 850
兵 庫 29	38 700	200 900	38 700	519	200 900	38 400
奈 良 30	9 500	49 400	9 500	520	49 400	9 500
和 歌 山 31	7 730	39 000	7 730	505	39 000	7 730
鳥 取 32	14 100	72 600	14 100	515	72 600	14 000
島 根 33	19 400	99 100	19 400	511	99 100	19 200
岡 山 34	33 600	185 500	33 600	552	185 500	33 500
広 島 35	26 200	141 200	26 200	539	141 200	26 000
山 口 36	23 900	124 500	23 900	521	124 500	23 900
徳 島 37	13 900	70 100	13 900	504	70 100	13 900
〔 早期栽培 38	5 350	26 100	5 350	488	26 100	...
〔 普通栽培 39	8 520	43 800	8 520	514	43 800	...
香 川 40	15 200	77 700	15 200	511	77 700	15 200
愛 媛 41	15 700	82 300	15 700	524	82 300	15 700
高 知 42	13 600	67 000	13 600	493	67 000	13 600
〔 早期栽培 43	8 030	40 900	8 030	509	40 900	...
〔 普通栽培 44	5 560	26 200	5 560	471	26 200	...
福 岡 45	39 600	198 400	39 600	501	198 400	39 200
佐 賀 46	26 900	139 100	26 900	517	139 100	26 700
長 崎 47	14 300	68 600	14 300	480	68 600	14 200
熊 本 48	39 700	207 200	39 700	522	207 200	39 300
大 分 49	24 800	128 700	24 800	519	128 700	24 800
宮 崎 50	20 400	104 200	20 400	511	104 200	20 300
〔 早期栽培 51	8 790	505	44 400	...
〔 普通栽培 52	11 600	516	59 900	...
鹿 児 島 53	25 000	122 500	24 900	492	122 500	24 900
〔 早期栽培 54	5 950	467	27 800	...
〔 普通栽培 55	19 000	500	95 000	...
沖 縄 56	1 010	3 160	1 010	313	3 160	1 010
〔 第一期稲 57	687	2 620	687	382	2 620	...
〔 第二期稲 58	324	538	324	166	538	...

注：1 作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、作付面積(青刈り面積を含む)から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積である。

収穫量

稲			陸 稲				全 国 ・ 都道府県
参 考			作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	(参 考) 10 a 当 たり 平 均 収 量 対 比	
収 穫 量 (主 食 用) ⑤=④×②	10 a 当 たり 平 年 収 量 ⑥	作 況 指 数 ⑦=②/⑥					
t	kg		ha	kg	t	%	
8 658 000	530	102	3 200	265	8 490	111	1
626 600	534	106	-	-	-	-	2
291 400	580	105	9	256	23	110	3
296 400	533	101	3	197	7	97	4
369 600	530	98	1	145	1	107	5
522 500	573	105	2	217	4	104	6
404 100	594	104	0	190	1	120	7
435 500	537	100	14	170	24	103	8
410 300	520	103	2 130	282	6 010	115	9
341 300	539	101	688	257	1 770	103	10
90 700	494	101	34	173	59	102	11
174 800	495	99	101	188	190	112	12
345 500	531	105	137	191	262	111	13
765	408	100	21	165	35	98	14
16 400	486	104	17	149	25	84	15
614 400	539	102	5	257	13	105	16
211 400	535	103	-	-	-	-	17
134 900	517	102	-	-	-	-	18
138 600	517	102	-	-	-	-	19
28 800	547	100	-	-	-	-	20
216 200	623	102	-	-	-	-	21
121 500	488	100	1	135	1	108	22
93 400	523	99	2	235	5	105	23
160 500	507	102	0	148	0	107	24
157 200	500	102	0	155	0	101	25
173 300	518	102	-	-	-	-	26
82 000	511	102	x	x	x	x	27
29 700	493	103	-	-	-	-	28
199 300	504	103	-	-	-	-	29
49 400	513	101	-	-	-	-	30
39 000	493	102	-	-	-	-	31
72 100	517	100	-	-	-	-	32
98 100	509	100	-	-	-	-	33
184 900	526	105	-	-	-	-	34
140 100	523	103	-	-	-	-	35
124 500	504	103	-	-	-	-	36
70 100	474	106	-	-	-	-	37
...	463	105	-	-	-	-	38
...	480	107	-	-	-	-	39
77 700	499	102	-	-	-	-	40
82 300	498	105	-	-	-	-	41
67 000	459	107	-	-	-	-	42
...	478	106	-	-	-	-	43
...	432	109	-	-	-	-	44
196 400	499	100	-	-	-	-	45
138 000	528	98	-	-	-	-	46
68 200	474	101	1	208	3	102	47
205 100	515	101	7	195	14	121	48
128 700	503	103	0	200	0	94	49
103 700	493	104	7	224	16	104	50
...	475	106	51
...	507	102	52
122 500	479	103	13	238	31	107	53
...	439	106	54
...	492	102	55
3 160	309	101	-	-	-	-	56
...	384	99	-	-	-	-	57
...	150	111	-	-	-	-	58

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 宮崎県及び鹿児島県の陸稲は作期別の取りまとめを行っていないことから「…」で示している。

2 平成20年産水稻の被害面積及び被害量

全 国 都道府県	総 数		気 象 被 害				病 害		虫 害	
	被害面積	被害量	日照不足		病 害		虫 害			
					被害面積	被害量	被害面積	被害量		
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t		
全 国	3 119 000	518 100	1 620 000	314 100	688 000	116 700	793 400	141 000	579 800	45 900
北 海 道	134 900	27 100	73 000	21 800	-	-	36 000	4 700	23 200	403
青 森	111 400	16 600	87 700	11 600	47 900	2 460	14 000	3 980	8 400	889
岩 手	126 500	25 100	106 600	22 100	56 600	9 610	12 500	2 470	5 720	453
宮 城	204 600	52 800	158 200	45 400	72 400	21 900	33 900	6 250	7 680	534
秋 田	165 100	15 200	119 800	11 900	89 000	9 160	24 100	2 550	20 400	652
山 形	185 100	24 500	116 000	16 800	67 600	13 500	24 100	5 210	36 600	1 880
福 島	145 200	34 100	100 700	24 600	5 200	1 140	25 000	7 990	16 800	1 070
茨 城	78 100	28 000	52 800	18 300	17 700	5 180	16 400	7 550	7 760	1 800
栃 木	160 300	31 300	85 900	22 000	52 700	11 400	45 500	7 600	25 300	1 470
群 馬	38 500	11 600	17 300	5 990	9 940	2 530	12 200	4 100	7 730	1 150
埼 玉	104 200	16 000	57 600	9 220	35 800	5 300	22 000	4 190	23 100	2 410
千 葉	45 200	9 200	25 600	4 910	2 200	240	11 600	3 050	5 560	797
東 京	313	44	189	25	187	24	54	13	25	1
神 奈 川	4 830	438	2 120	228	-	-	1 620	148	579	29
新 潟	164 600	17 900	70 700	10 600	-	-	44 600	5 530	42 400	1 450
富 山	10 500	1 630	3 900	1 120	-	-	3 330	292	1 720	70
石 川	22 900	2 070	14 100	1 240	12 100	550	5 150	594	3 000	101
福 井	18 600	3 080	3 830	926	-	-	9 010	1 480	5 360	365
山 梨	6 570	1 960	2 960	971	830	107	1 670	638	1 450	196
長 野	91 800	10 400	48 100	5 300	25 000	1 370	14 900	3 030	20 200	1 230
岐 阜	36 800	7 530	4 340	1 080	140	15	24 300	5 460	7 120	748
静 岡	27 400	4 680	9 440	1 840	1 960	410	9 320	1 450	6 790	1 040
愛 知	81 300	6 360	19 200	1 670	2 480	112	24 600	2 620	25 900	1 520
三 重	45 400	6 480	9 900	2 060	750	18	14 600	1 970	14 000	1 320
滋 賀	68 100	9 120	27 800	3 150	500	30	23 300	4 400	14 400	888
京 都	13 900	1 690	4 590	405	-	-	4 270	585	4 170	269
大 阪	8 450	1 270	298	21	-	-	3 820	566	2 570	320
兵 庫	44 400	4 390	11 300	1 480	-	-	13 600	1 290	15 100	1 010
奈 良	10 600	3 130	338	76	-	-	7 070	2 310	2 930	552
和 歌 山	23 200	2 310	8 170	657	4 200	480	7 960	930	4 740	396
鳥 取	33 500	5 830	17 000	3 990	14 100	3 050	9 520	1 270	6 940	502
島 根	37 200	5 550	25 100	2 700	13 700	1 000	6 500	2 100	4 180	331
岡 山	86 800	6 360	28 300	1 550	-	-	39 300	3 240	18 500	1 200
広 島	26 100	6 400	12 200	2 970	-	-	7 650	1 500	4 860	1 170
山 口	59 400	5 380	27 800	2 490	12 800	1 370	14 300	1 650	9 620	589
徳 島	54 400	3 840	19 500	1 810	6 770	636	14 500	1 230	14 200	530
香 川	28 600	5 460	6 040	1 380	-	-	12 800	2 380	8 840	1 430
愛 媛	27 400	3 760	13 400	2 020	4 590	330	6 090	674	6 580	592
高 知	35 000	1 970	8 390	465	-	-	6 520	669	17 700	616
福 岡	90 900	15 300	41 000	9 350	20 500	6 060	24 300	2 710	21 300	2 480
佐 賀	70 400	18 500	31 900	12 200	15 600	6 260	21 200	4 350	16 600	1 710
長 崎	48 400	6 810	25 500	3 490	13 000	1 350	13 600	2 000	7 850	792
熊 本	109 700	17 500	47 400	8 570	30 000	4 500	31 900	5 430	27 100	3 030
大 分	65 000	9 250	19 900	3 160	17 900	2 500	33 500	4 760	10 400	825
宮 崎	67 100	12 600	26 100	4 850	20 400	2 660	27 500	6 280	12 100	1 130
鹿 児 島	100 700	17 600	28 100	5 510	13 400	1 390	33 600	7 880	32 400	3 830
沖 縄	487	141	210	19	60	15	50	18	181	85

【参考1】

平成20年産水稻の作柄表示地帯別作況指数

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
北海道 (106)	狩野	105	群馬 (101)	中毛	101	
	南空知	105		北毛	100	
	北空知	107		東毛	102	
	上川	107	埼玉 (99)	東部	100	
	留萌	107		西部	97	
	渡島	105		千葉 (105)	京葉	104
	檜山	104			十九里	105
	後志	103			南房総	105
	胆振	104	東京 (100)	東京	100	
	日高	100		神奈川 (104)	神奈川	104
十勝	99	新潟 (102)	岩船		103	
網走	70		下越		104	
青森 (105)	青森	105	中越		101	
	津軽	105	魚沼		102	
	南部・下北	105	上越		103	
		105	佐渡		103	
岩手 (101)	北上川上流	103	富山 (103)		東部	103
	北上川下流	100			西部	103
	東部	100	石川 (102)		加能	102
	北部	99		嶺北	102	
宮城 (98)	南部	97	井南	嶺南	101	
	中部	98		山梨 (100)	山梨	100
	北部	99	長野 (102)		東信	103
	東部	98		中信	102	
秋田 (105)	県北	103	岐阜 (100)	西南	100	
	県中	105		中濃	101	
	県南	106		東濃	102	
山形 (104)	村山	105	飛騨	濃驛	100	
	最上	104		静岡 (99)	東部	99
	置賜	102			中部	99
	庄内	104	西部	100		
福島 (100)	中通り	100	茨城 (103)	北	102	
	浜通り	97		北	102	
	会津	103		南濃	100	
茨城 (103)	北部	101		栃木 (101)	中濃	101
	鹿行	103	東濃		102	
	南部	104	西		100	
	西部	104	東部		99	
栃木 (101)	北部	101	静岡 (99)	中部	99	
	中部	101		西部	100	
	南部	102				

平成20年産水稻の作柄表示地帯別作況指数(つづき)

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
愛知 (102)	尾張	102	高知 (107)	中東部	108	
	西三河	101		西部	107	
	東三河	102				
三重 (102)	北勢	101	福岡 (100)	福岡	101	
	中勢	103		北九州・豊前	102	
	南勢	102		筑豊	101	
	伊賀	103		北筑後	100	
				南筑後	99	
滋賀 (102)	湖南	102	佐賀 (98)	佐賀	98	
	湖北	102		松浦	99	
京都 (102)	南部	103	長崎 (101)	西彼	100	
	北部	101		東南部	100	
大阪 (103)	大阪	103		県北	100	
				五島	107	
兵庫 (103)	県南	103		壱岐・対馬	104	
	県北	101				
奈良 (101)	奈良	101	熊本 (101)	県北	101	
				阿蘇	105	
和歌山 (102)	和歌山	102	大分 (103)	県南	100	
				天草	104	
鳥取 (100)	東部	100		北	北部	100
	西部	99			湾岸	104
島根 (100)	出雲	100	南部		103	
	石見	101	日田	107		
岡山 (105)	南部	105	宮崎 (104)	広域沿海	105	
	中北部	104		広域霧島	102	
広島 (103)	南部	104		西北山間	103	
	北部	102				
山口 (103)	東部	106	鹿児島 (103)	薩摩半島	104	
	西部	103		出水薩摩	102	
	長北	100		伊佐始良	100	
徳島 (106)	北部	107		大隅半島	104	
	南部	105		熊毛・大島	107	
香川 (102)	香川	102	沖縄 (101)	沖縄諸島	109	
				八重山	97	
愛媛 (105)	東予	104				
	中予	103				
	南予	109				

注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。

2 沖縄県は第一期稲、第二期稲を合算したものである。

【参考2】

平成20年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a 当たり収量内訳
(全国農業地域別)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（【参考4】参照）。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量を示すと次のとおりである。

1 全国農業地域別

単位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント

区分	計	ふるい目幅						
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
全国農業地域								
全 国								
重量割合	本年値	100.0	76.2	16.5	3.0	2.1	1.3	0.9
	平均対差		6.5	△ 5.0	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1
北 海 道								
重量割合	本年値	100.0	80.6	13.7	2.4	1.7	1.0	0.6
	平均対差		3.7	△ 3.7	△ 0.1	0.0	0.1	0.0
東 北								
重量割合	本年値	100.0	79.9	14.0	2.5	1.8	1.0	0.8
	平均対差		7.0	△ 5.6	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.2	0.1
北 陸								
重量割合	本年値	100.0	77.5	16.6	2.6	1.6	1.0	0.7
	平均対差		4.2	△ 3.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.1	0.0
関東・東山								
重量割合	本年値	100.0	72.4	19.5	3.4	2.3	1.4	1.0
	平均対差		8.5	△ 6.4	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.1
東 海								
重量割合	本年値	100.0	81.7	12.6	2.5	1.4	1.0	0.8
	平均対差		7.1	△ 5.2	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2
近 畿								
重量割合	本年値	100.0	76.8	15.3	3.0	2.4	1.5	1.0
	平均対差		4.5	△ 4.0	△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.1
中 国								
重量割合	本年値	100.0	82.0	12.2	2.4	1.6	1.1	0.7
	平均対差		8.1	△ 6.0	△ 1.0	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.3
四 国								
重量割合	本年値	100.0	69.4	20.3	4.5	2.9	1.9	1.0
	平均対差		7.0	△ 5.0	△ 1.4	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3
九 州								
重量割合	本年値	100.0	64.0	23.8	5.2	3.2	2.3	1.5
	平均対差		7.3	△ 4.9	△ 1.3	△ 0.7	△ 0.2	△ 0.2

単位：kg

区分	10a 当たり 収 量 (1.70mm選別)	選別ふるい目幅別10a 当たり収量				
		2.00mm 選別	1.90mm 選別	1.85mm 選別	1.80mm 選別	1.75mm 選別
全国農業地域						
全 国	543	414	503	520	531	538
北 海 道	565	455	533	546	556	562
東 北	571	456	536	550	561	566
北 陸	545	422	513	527	536	541
関東・東山	547	396	503	521	534	542
東 海	509	416	480	493	500	505
近 畿	521	400	480	495	508	516
中 国	531	435	500	513	521	527
四 国	510	354	457	480	495	505
九 州	508	325	446	472	489	500

- 注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。
 2 選別ふるい目幅別10a 当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a 当たり収量のことである。
 3 台風等により未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

2 累年データ（全国）

単位：％

区 分	計	2.00mm 以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
平. 16	100.0	68.7	21.5	4.2	2.8	1.7	1.1
17	100.0	71.2	20.5	3.6	2.3	1.4	1.0
18	100.0	72.9	19.2	3.5	2.2	1.3	0.9
19	100.0	75.5	17.9	3.0	1.8	1.1	0.7
20	100.0	76.2	16.5	3.0	2.1	1.3	0.9

【参考3】

農家等が使用した選別ふるい目幅の分布

【平成20年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

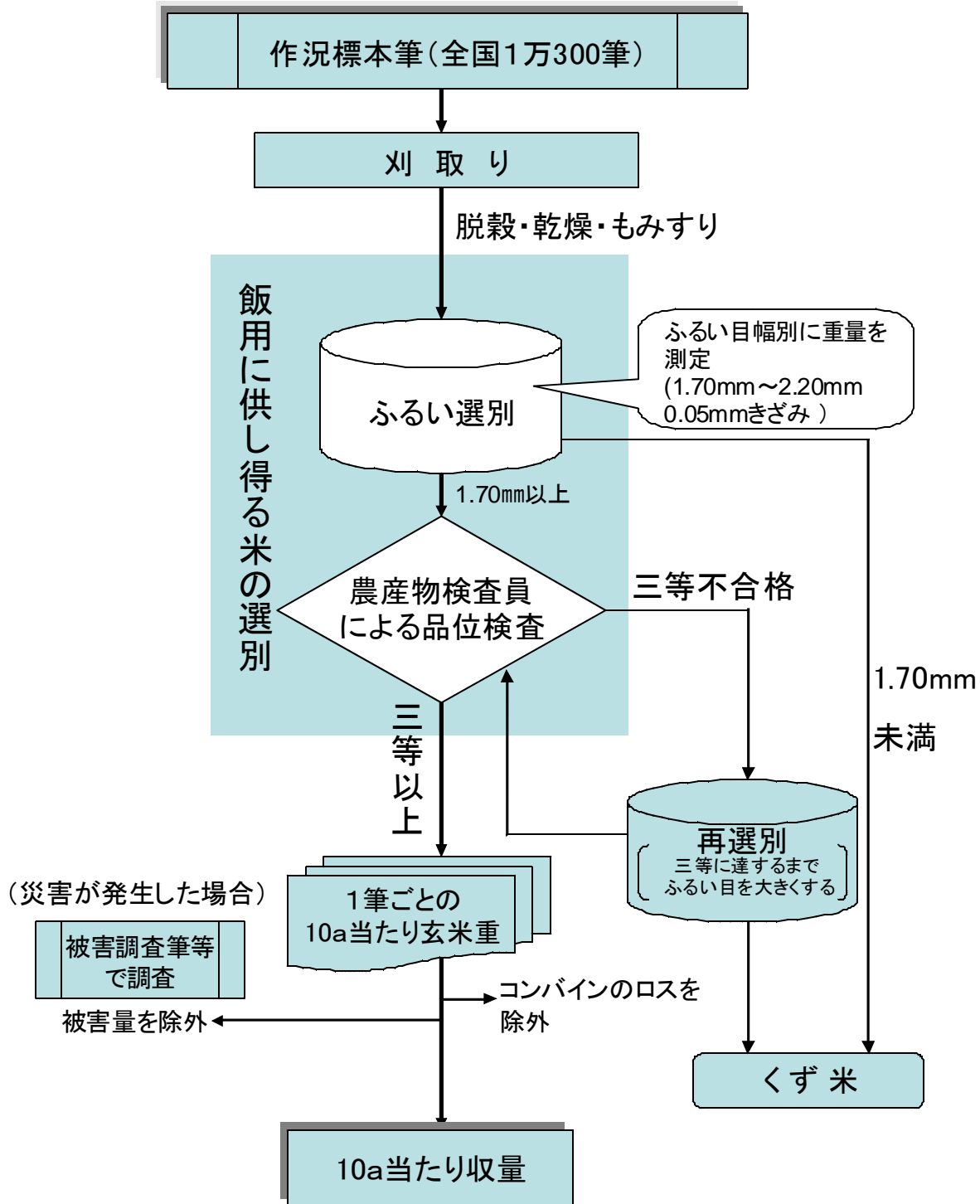
単位：％

区 分	計	2.0mm 以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
全 国	100.0	2.1	26.8	39.2	27.1	4.2	0.6
北 海 道	100.0	25.6	62.6	11.2	0.6	-	-
東 北	100.0	0.1	75.8	23.0	1.1	0.0	0.0
北 陸	100.0	1.2	29.0	64.3	5.0	0.5	-
関 東・東 山	100.0	0.4	4.0	38.8	42.7	12.3	1.8
東 海	100.0	0.1	15.6	39.0	42.7	2.1	0.5
近 畿	100.0	2.2	9.6	36.3	41.0	10.3	0.6
中 国	100.0	0.5	5.4	72.2	21.2	0.7	-
四 国	100.0	-	1.2	11.2	69.3	17.5	0.8
九 州	100.0	-	4.1	43.0	49.8	2.0	1.1

注： この表は水稻作況標本（基準）筆農家が使用した割合である。

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考5】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考5】

ふで
作況標本筆とは

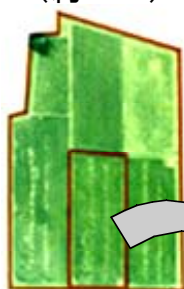
ふで
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万300筆)、調査している。

都道府県内の全耕地
(母集団)



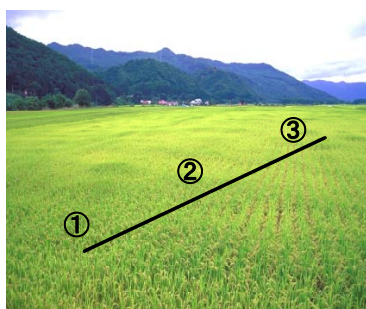
- ① 都道府県ごとの耕地を、2 haの区画(北海道は10ha)に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(約2 ha)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万300筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3か所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び稲調査の中の水陸稲の収穫量調査として実施し、水陸稲の作付面積、作柄状況、収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東海	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
近畿	岐阜、静岡、愛知、三重
中国	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
九州	徳島、香川、愛媛、高知
沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

ア 水 稲

標本単位区：31,030単位区、巡回・見積り：1,789市町村

イ 陸 稲

関係団体調査			巡回・見積り市町村数
団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①	
団体	団体	%	市町村
61	58	95.1	1,789

(2) 収穫量調査

ア 水 稲

作況標本筆：10,285筆、作況基準筆：878筆、巡回・見積り：1,789市町村

イ 陸 稲

関係団体調査			標本経営体調査					
団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①	母集団 経営体数 ④	標本数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	回収数 ⑦	回収率 ⑧=⑦/⑤	集計数 ⑨
団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%	経営体
24	22	91.7	8,178	682	8.3	450	66.0	202

巡回・情報収集：1,789市町村

関係団体調査は、調査対象作物の集荷を行っているすべての農協等の関係団体に対して調査を実施しているしっ皆調査である。

標本経営体調査の標本抽出は、2005年農林業センサスにおいて、調査対象作物を販売目的で作付けした農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、設定した作付面積規模別の標本数に応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）したものである。

4 調査事項

- (1) 作付面積調査
 - 水陸稲：作付面積
- (2) 収穫量調査
 - ア 水 稲：登熟状況、10 a 当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種条件等
 - イ 陸 稲：10 a 当たり収量及び収穫量

5 調査期間

- (1) 作付面積調査
 - ア 水 稲：7月15日現在
 - イ 陸 稲：収 穫 期
- (2) 収穫量調査
 - 水陸稲：収 穫 期

6 調査方法

- (1) 作付面積調査
 - ア 水 稲
標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。
 - イ 陸 稲
関係団体に対する郵送調査及び職員による巡回・見積りにより行った。
- (2) 収穫量調査
 - ア 水 稲
作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。
 - イ 陸 稲
関係団体及び標本経営体に対する郵送調査並びに職員による巡回・情報収集により行った。

7 集計方法

- (1) 作付面積調査
 - ア 水 稲
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
 - イ 陸 稲
関係団体調査結果及び巡回・見積り結果により算出している。
- (2) 収穫量調査
 - ア 水 稲
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

イ 陸 稲

調査対象作物の団体取扱数量（団体把握シェアおおむね80%を基準）に応じて、関係団体調査結果又は標本経営体調査結果（必要に応じて巡回・情報収集結果により補完）により算出した10 a 当たり収量を作付面積に乗じて算出している。

8 用語の解説

- (1) 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。
- (2) 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。
- (3) 10 a 当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。
- (4) 10 a 当たり平均収量対比とは、10 a 当たり平均収量（過去7か年の実績値のうち、最高、最低を除いた5か年の平均値）と当年産の10 a 当たり収量との対比をいう。
- (5) 被害面積とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- (6) 被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいう。

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。
【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

- 米に関する累年データは、農林水産省ホームページ中の農林水産統計情報総合データベースに掲載しています。【<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei/>】

【関連リンク】

米関係ページ：農林水産省＞食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/index.html>
農林水産省＞生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/index.html>

米政策改革情報ページ：<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/jyukyu/komeseisaku/index.html>

全国米穀取引・価格形成センター：<http://www.komekakakucenter.jp/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房 統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：03 (3502) 5687
面積統計班
電話：03 (6744) 2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部
統計企画課 広報普及班
電話：03 (6744) 2037